

平成30年度 晃英館中学校・山口県桜ヶ丘高等学校普通科晃英館コース学校評価(自己評価)

3:達成できた・概ね達成できた 2:一部達成できた、不十分 1:達成できなかった

評価領域	重点項目	評価	反省と課題
学級経営	1. 基本的な生活習慣の確立 ○中学 ・挨拶・言葉遣い・時間、提出期限厳守等の徹底 ・生活ノートを活用した個別指導 ・自己管理の習慣づけ ・学年の特性に応じた指導内容の明確化 ○高校 ・上級学年としての自覚ある行動を意識させる。 ・学校を支える存在として自立的・積極的行動ができるよう指導する。	2	・時間や提出期限などを守れない生徒がいた ・生活ノートの記録ができていない ・休日の過ごし方の改善が必要 ・上級生になるに従って自覚がを持って生活できている ・さまざまな場面で自主的に行動する姿が見られた。
	2. 学習習慣の確立と質的深化 ○中学 ・生活ノート、家庭学習記録の定期的な確認による状況把握と適切な指導。家庭学習の習慣化 ・個々に応じた目標設定と指導 ○高校 ・大学入試を意識した主体的な学習習慣の確立 ・各自の進路目標の具体化と課題の明確化	2	・課題のやり直しなどに時間を取られている。 ・家庭学習が、課題の消化で終わっている。 ・家庭学習時間が増える傾向にある。 ・自主性や主体性のある生徒が多く、自らの課題の克服に向けて積極的に取り組んだ。
	3. 進路意識の高揚 ○中学 ・進路学習、職場体験、立志式を通して、具体的な進路目標を設定できるよう指導する。 ○高校 ・進路学習、オープンキャンパスレポートなどを通して、進路目標を具体化するよう指導する。 ・時期に応じて具体的な数値目標を設定させ、あらゆる状況に柔軟に対応できるよう指導する。	3	・進路が明確な生徒の意識は高まったが、未定や迷っている生徒の意識が高まらない。 ・小論文指導・面接対策など多くの職員が関わった。 ・文理選択、科目選択の不徹底 ・現実を見つめて、適切な進路を選ぶようになった。 ・進路情報を提供し、保護者と連携をとって、志望校決定に結びつけた。
	4. 望ましい集団づくり ・他を思いやり、異なる意見を尊重できる集団を構築する。 ・集団の一員としての意識を高め、集団における自分の役割を責任をもって果たすよう指導する。 ・集団行動のなかで、状況をふまえた行動がとれるよう指導する。 ・学校行事への取組を通し、積極性、協調性を養う。	2	・上級生になるに従って達成できたが、女子の中で人間関係でもめることがあった。 ・学年間の壁がある。 ・一部を除いて、他学年との交流が少ない。 ・生徒会や各種学校行事で自ら進んで参加してくれた。
学習指導	1. 主体的な学習習慣の定着 ・基本的な生活習慣の確立を基盤に、自学自習できる生徒を育てる。 ・本校における中高一貫教育の3段階に沿った指導を徹底する。	2	・学期が経過するにつれ、また学年が上がるにつれきちんと取り組めるようになった。 ・PDCAサイクルの確立 ・生活ノートや手帳をもっと利用する。 ・立志式を総合とからめる。
	2. 学力伸長 ・各生徒の個人的なレベルに対応できるよう、きめ細かな教材を工夫する。 ・個別指導を継続して実施する。 ・中学の英語、数学で一部習熟度授業を取り入れ、理解度を高める指導を行う。	2	・個別指導を求める生徒が増え、成果が出ている。 ・教師間での生徒の成績状況の共有 ・習熟度授業については、クラス分け、使用教室、教員の確保に苦労がある。
	3. 大学入試改革への対応 ・新制度の研究とそれに対応した教育内容・活動の研究	2	・各種研修会や業者を呼んでの情報収集などを積極的に行った。 ・模試やアプリの内容の検討

進路指導	1. 進路に対する目的意識を高める(主に中1、中2)。	2	・中学生の進路意識・関心が高まらない。
	2. 主体的な学習態度を育成し、より具体的な進路探求を促す(主に中3、高1)。	3	・中3生は大学訪問の際積極的に質問した活動を実施できた。
	3. 進路希望実現に向けた効果的な受験指導を行う(主に高2、高3)。	3	・個人指導、面接、小論文等教員間の連携が取れていた。 ・模試の結果を使った志望校の選択。
	4. 6年間の進路計画の見直し	3	・業者の講演を依頼し、新テストや各校の取り組みなどの情報を入手し、それを分析した。 業者模試の見直し(新テスト対応・記述)
生活指導	1. いじめゼロ ・生徒の状況確認のため、毎学期いじめ調査を実施 ・スマホマナー講習会実施	1	・調査後判明した問題については早急に事実確認を対応したが、根本的解決ができなかった。 ・アンケート等を利用し、迅速・適切に対応した。
	2. 生徒会の指導 ・生徒主体で委員会や学校行事を運営できるよう指	2	・生徒主体は進んだが、教員の適切な関わりに欠け、一般教員に情報が届かなかった。
	3. 部活動への積極的な参加	2	・かるた同好会の活動が認められ部に昇格した。 部・同好会規約の作成と運用。
	4. 安全事故ゼロ ・交通安全教室・指導等で交通マナーの徹底	2	・自転車での交通事故が依然減らない。 ・自転車安全点検の実施が必要 ・自転車通行ゾーンの変更による注意の喚起
	5. 人間形成 ・挨拶の励行・正しい言葉遣い (オリエンテーション合宿・大津島研修を契機に) ・ボランティア活動等奉仕活動への積極的参加の促進	2	・教員には礼儀正しくできるが、外部の方や他学年の生徒に対して、挨拶ができない。 ボランティア活動を紹介し、生徒も多く参加した。 なかなか適当な活動が近辺にない。